

改善計画書

施策番号	担当部	担当課	職名	氏名	電話番号(直通)	
12320	福祉部	地域医療課	課長	川野 佐一郎	042-769-9230	
施策名	救急医療体制の充実					
施策の目的	<p>増加する救急医療患者に的確に対応するため、救急医療体制の整備充実を図る。特に、初期救急から三次救急までの総合的な救急医療体制の確立を目指す。</p> <p>休日・深夜の救急患者に迅速に対応できるよう初期救急医療機関であるメディカルセンター、二次救急医療機関である市内病院、及び三次救急医療機関である救命救急センター各々の機能の充実を図っているほか、救急医療情報センターでの電話照会、休日急患歯科事業及び調剤薬局事業を実施している。</p>					
これまでの取組	<p>休日や夜間に急病患者に対して診療可能な医療機関の電話案内を救急医療情報センターで実施した。</p> <p>急病診療については、メディカルセンターで内科・小児科・外科の初期救急患者の診療を実施するとともに、入院を必要とする急病患者を市内の協力医療機関で受入れを行った。また、休日・夜間の急病患者への調剤と休日の歯科救急患者の診療を実施した。</p> <p>北里大学病院の救急救命センターで重篤な急病患者の受け入れを行うとともに、相模原協同病院で循環器・心疾患の急病患者の受け入れを行った。</p>					
評価結果 (平成17年度 実績評価)	1次評価	A	2次評価	B	3次評価	B
	3次評価での指摘事項等及び意見 (は行政評価検討委員会としての指摘事項・改善要望項目、 は各委員の意見)					
	<p>重要度に見合った満足度にするために、不満の原因を分析し、具体的な解決策を検討すること。</p> <p>市民にとって身近で重要な施策であることから、市民満足度を上げるために市民にわかりやすい指標を掲げ、実施事業に対する成果が測れるような指標を設定すること。</p> <p>不満の原因分析の結果を事業の優先順位付けに活かすこと。</p> <p>当該指標(メディカルセンター等の開設率)については、目標達成されたのであれば、必要ないのではないかと。</p> <p>現在地域医療課業務の中で最も苦労している、あるいは、課題となっている点は何であるか。それらを指標とすべきではないか。</p> <p>指標については、搬送時間や医師の確保数などが考えられると思うが、満足度が低いのであれば、満足度自体を指標にしても良いのではないかと。</p> <p>評価の中で効率性を高めるために何を行うのが、解決策であるべき。</p>					
3次評価の指摘事項を踏まえた課題整理	<p>市民アンケートによると、満足度が低い原因として、休日・夜間の救急医療体制が不十分なことや診療時間が長いことなどがあるため、体制の充実、より良い情報提供、更なる啓発を図る必要がある。</p> <p>救急搬送時間や収容支障などの課題があり、救急患者の受け入れ医療機関の確保をよりスムーズすることなど、課題解決に向けて、現在、地域医療課では、医療関係団体等の協力のもと、医療対策協議会で救急体制などの検討を進めており、二次救急体制を補完する疾患別体制や産婦人科救急体制の確保などについて、今後、取り組んでいく予定である。</p>					

改善計画	改善目標及び改善時期	平成19年度中に市民満足度を向上するための成果指標を設定する。		
	具体的な改善方策	指摘を受けた指標について、基準値・目標値設定を行う。		
	成果指標の設定	実施の時期	平成19年度末までに	
		かかりつけ医を持っている市民の割合 メディカルセンターの患者数 救急搬送における救急収容支障率 など、成果を測る指標を設定する。		
	改善項目「 」	実施の時期	平成19年度末までに	
改善項目「 」	実施の時期	平成19年度末までに		
改善結果	改善目標の達成状況			
	評価及び今後の取組方針等			